

沼田町化石館だより

2024 年 2 月 22 日 140 号
この化石館だよりのカラー版は、化石館のホームページと、沼田町教育委員会のブログからご覧いただけます。

化石の道外出張：イベント参加しました

化石館が参画する、ほっかいどう恐竜・化石ネットワーク主催のイベント「みんなおいでよ！恐竜・化石大陸ほっかいどう 2024」が、2月3日（土）と4日（日）の2日間、埼玉県のリオンレイクタウン mori にて開催されました。イベントは両日ともに超満員で、特に、北海道大学総合博物館教授の小林教授の講演会と、足寄動物化石博物館と共同開催したミニ発掘の整理券確保のための100人近い”開幕ダッシュ組”が印象的でした。

沼田町化石館は、まちを代表する脊椎動物化石ヌマタネズミイルカの産状模型と、クラウドファンディングを活用して制作された復元骨格、世界的に有名な貝化石タカハシホタテの産状模型と実物化石の展示を行いました。また、普段は化石体験館限定のミュージアムグッズの販売とミニ発掘体験も実施し、ながら「ミニ・化石体験館」のような沼田のブースは通りがかりの人々から大きな関心を集めていました。ミニ発掘体験は言わずもがな、開場唯一の「さわれる化石」として展示した



▲ 会場1分後の様子。あっという間に黒山の人だかりができました！

◀ 大盛況だったミニ発掘体験。本物の化石や鉱物が発掘できるため、老若男女約600名の方々が夢中で石を削っており、大盛り上がりの二日間でした（松井）。



タカハシホタテは特に大人気で、「はじめて化石にさわった！」と大興奮の子どもから、「夢のようなホタテ！」とお腹をすかせるグルメな大人など、たくさんの方が目を輝かせていました。その他、「沼田町というまちが北海道にあるんだ！」という方々や、「イルカの化石なんてものがあるの!?」、「化石ってこんな風に見つかるの?」と熱心に標本観察する方々、そして「北海道に行ったら沼田に行ってみたいね!」と言ってくれる方々など、多くの人から様々なコメントが飛び交っていました。

会場内には、ヌマタネズミイルカとタカハシホタテの他、むかわ町のカムイサウルスと足寄町のアショロアの復元骨格も展示され、主催の道庁の方々や他の市町の方々にも助けられつつ、関東に「沼田の化石」をアピールできる絶好の機会となりました。学芸員としても、一連のイベントをとおして、沼田の化石の知名度が町内から北海道へ、道内から全国へと広がりつつあることを大いに実感できました。

化石体験館は今年で開館16年目。沼田の化石たちの旅はまだまだこれからです。今後も沼田の化石の存在を全国に知らせるべく活動の幅を広げていきますので、今年も化石館の活動へより一層のご愛をいただけるよう よろしくお願いたします！



◀ ヌマタネズミイルカを観察する家族。初めて見るイルカ化石に興味津々で、復元画と復元骨格を見比べながら、目の位置や鼻の孔、体のサイズなどを推測しながら、じっくりと標本と向き合っていました。

「ぬまた学」で昔のはなしを。

2月14日（木）に、沼田小学校の小学4年生の授業「ぬまた学」にお招きいただき、学芸員2名がそれぞれの担当分野の視点から「沼田の昔」を紹介しました。

はじめに、松井学芸員が、今年で開拓130周年をむかえた沼田町のまちの変遷を、先史時代にはじまり、町への入植を経て、現在に至るまでの時間の経過にそって解説しました。「ぬまっ子」の先輩として、町の名産品や観光スポットのなりたちや背景を、文化財収蔵センターの“蔵出し”の実物資料にふれながら分かりやすく説明し、後輩のぬまっ子たちは身近なものの由来を学んでいました。つづいて、長野学芸員が、沼田がまだ海だったころの「太古の沼田町」について、沼田の化石がもつ「世界一」をテーマに紹介しました。

まちの歴史は沼田町化石館や文化財収蔵センターの見学だけでなく、図書館の本などでも学ぶことができます。沼田町化石館だより読者のみなさんも、130周年を機に、「知っているようで実は知らない」まちの歴史を学んでみませんか？



◀ 沼田町五ヶ山から出土した石器を紹介する松井学芸員。初めてさわる冷たい石器の感触に盛り上がる児童たち。その他、沼田の最盛期を支えた石炭をさわったり、持ち上げてみて、実物の重みを感じました。

▶ オリジナル「ヌマタネズミイルカTシャツ」を見せながら、「太古の沼田」に生息した古生物を紹介する長野学芸員。現生鯨類の骨と化石の鯨類の骨をさわり比べたり、沼田で最大のタカハシホタテにふれました。



マニア大注目！化石切手発行！！

ほっかいどう恐竜・化石ネットワークが中心になり制作したオリジナル切手シートが日本郵政より発行されました。北海道で発見された恐竜や古生物たちが、84円の切手となり全世界に手紙を届けます。沼田町からは、まちを象徴する化石としてヌマタネズミイルカが登場しており、遠方の方々に日本イチのイルカ化石「ヌマタネズミイルカ」をアピールするにもってこいのデザインとなっております！オリジナル切手シートのデザインや販売郵便局、価格などは下記QRコードをご覧ください。



化石体験館の開館まであと2か月！

令和6年度の沼田町化石体験館は、
4月29日（月・祝）に開館します。

今年も沼田町化石体験館は様々なイベントをご用意してみなさまをお待ちしています。イベントの告知などは化石館ホームページでお知らせします。ぜひチェックしてください。

沼田町化石館だより 2024年2月号 第140号
発行 / 沼田町化石館 編集 / 長野あかね
〒078-2202 北海道雨竜郡沼田町南1条4丁目
電話 / FAX 0164-35-2132 / 0164-35-1210
メールアドレス kyoiku@town.numata.lg.jp（教育委員会）
ホームページ <http://numata-kaseki.sakura.ne.jp/index.shtml>

化石館便りは毎月第4木曜日発行。次回は3月21日発行。

